

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（交通施設：高陽団地9号線（東高陽））整備事業						
補助事業者名	岡垣町長						
実施場所	遠賀郡岡垣町東高陽						
補助事業の成果の目標	<p>町道高陽団地9号線は、地域住民の重要な生活道路であるが、現況道路側溝の断面不足等による雨水の道路への溢水により、近隣住民の通行に支障をきたしている状況にある。</p> <p>そのため、道路側溝の改良工事を実施することにより、排水機能の改善を図り、また、歩行者等の安全性を確保し、地域住民の生活基盤の整備を図ることを目標とする。</p>						
補助事業の内容	道路側溝改良工事 L=398.9m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	計
	事業費	円 4,536,000	円 4,395,600	円 4,395,600	円 4,719,000	円 1,672,000	円 19,718,200
	交付金額	円 4,300,000	円 4,300,000	円 4,300,000	円 4,300,000	円 1,450,000	円 18,650,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>道路側溝の改良工事を実施したことで、排水機能の改善が図られ歩行者等の安全が確保されていることを現地で確認しており、地域住民の生活基盤の向上が図れた。また、地域住民からは「排水に支障がなくなり、ふたの設置により安全な歩行が容易になった」との意見が寄せられ、事業の効果を確認することができた。</p> <p>地域住民への周知については、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを施工通知及び工事看板に明記し、周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（通信に関する事業：岡垣町地域情報伝達無線システム管理運営事業基金）							
補助事業者名	岡垣町長							
実施場所	遠賀郡岡垣町内							
補助事業の成果の目標	<p>岡垣町では、あらゆる災害からの町民の生命財産の保護及び地域におけるコミュニティの醸成等を目的に、地域情報伝達無線システムを運用しており、日々、安定的に運用するため当該設備の管理運営が欠かせない状況である。</p> <p>このため、岡垣町地域情報伝達無線システム管理運営事業基金を設置し、当該設備の安定的かつ継続的な管理運営を行うことで、地域住民への情報伝達を安定的に機能させ快適な地域コミュニティの醸成等を図ることを目標とする。</p>							
補助事業の内容	地域情報伝達無線システムの運営に伴う設置委託業務、基地局・中継局に係る各種利用料、設備保守委託業務							
補助事業の始期及び終期	令和元年度～令和11年度							
事業費及び交付金額		令和 元年度	令和 2年度				計	
	事業費	円 0	円 4,454,575	円	円	円	円 4,454,575	
	基金 造成 額	交付金額	4,000,000	4,000,000				8,000,000
		市町村費等	0	0				0
		運用益	0	2,400				2,400
		計	4,000,000	4,002,400				8,002,400
	基金処分額	0	4,002,400				4,002,400	
基金残額	4,000,000	4,000,000						
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金の活用により設備機器の保守点検等を適切に行い地域情報伝達無線システムを安定的に運営したことで、地域住民への情報伝達を安定的に行うことができ、また、町内住民への聞き取りの結果、「地域単位で利用できて便利である」、「町の動向が分かりやすくありがたい」等の意見も得られ、事業目標に対する成果が確認された。</p> <p>地域住民への周知については、町ホームページへの掲載及び住民に配布する戸別受信機の取扱説明書への記載により、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されていることの周知を図っている。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：岡垣サンリーアイ管理運営事業基金）							
補助事業者名	岡垣町長							
実施場所	遠賀郡岡垣町野間1丁目2番1号							
補助事業の成果の目標	<p>岡垣サンリーアイは、地域住民の学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進を図るための施設で、岡垣町の文化スポーツの拠点として、年間約42万人が利用する施設であり、町は地域住民が安全安心かつ快適に施設を利用するため適切な施設の管理運営を図る必要がある。</p> <p>そのため、岡垣サンリーアイ管理運営事業基金により、当該施設の管理委託や修繕等を適切に行い安定的に管理運営することで、地域住民の学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進の場として、快適な環境を整えることを目標とする。</p>							
補助事業の内容	岡垣町サンリーアイ管理運営事業							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～令和7年度							
事業費及び交付金額		平成28年度まで	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計	
	事業費	円 58,531,881	円 59,573,553	円 66,291,775	円 58,484,080	円 72,489,665	円 315,370,954	
	基金造成額	交付金額	32,331,000	17,147,000	23,517,000	25,713,000	31,333,000	130,041,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	23,259	25,237	25,720	23,645	15,427	113,288
		計	32,354,259	17,172,237	23,542,720	25,736,645	31,348,427	130,154,288
	基金処分量	15,529,259	16,850,237	17,172,720	23,540,645	25,728,427	98,821,288	
	基金残額	16,825,000	17,147,000	23,517,000	25,713,000	31,333,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金により当該施設を適切に管理運営することで、地域住民に学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進の場を安定的に提供することができた。また、住民アンケートでは、岡垣町が住みやすい理由や満足度が高い施設の項目で、サンリーアイ施設が上位で評価されており、学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進の場として良好なものと判断でき、事業目標に対する成果が確認されたところである。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響による休館などから、令和2年度の全室合計利用日数は5,891日（利用率47%、前年比9%減）、施設利用者数は年間138,346人（前年比224,931人減）となっているものの、昨今の情勢下においても多くの住民に利用されている状況である。</p> <p>地域住民への周知については、管内掲示板への掲示及び町ホームページに本事業の内容とともに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを掲載し、周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（交通に関する事業：岡垣町公共交通運行事業基金）							
補助事業者名	岡垣町長							
実施場所	遠賀郡岡垣町							
補助事業の成果の目標	<p>岡垣町が海老津駅を中心に運行しているコミュニティバスは、高齢者や通勤通学者の生活に不可欠なものとなっており、平成30年10月からは、減便となった民間路線バスの路線を補うため、さらに町のコミュニティバスの運行路線を拡充している。</p> <p>このため、岡垣町公共交通運行事業基金を設置し、コミュニティバスの運行路線の拡充を図るとともに、安定的かつ継続的に住民の日常生活に必要な交通手段を確保することを目標とする。</p>							
補助事業の内容	岡垣町公共交通の運行事業							
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和10年度							
事業費及び交付金額		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度			計	
	事業費	円 0	円 25,786,396	円 25,218,030	円	円	円 51,004,426	
	基金 造成 額	交付金額	6,000,000	6,000,000	6,000,000			18,000,000
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益	0	6,032	3,600			9,632
		計	6,000,000	6,006,032	6,003,600			18,009,632
	基金処分額	0	6,006,032	6,003,600			12,009,632	
基金残額	6,000,000	6,000,000	6,000,000					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>基金の活用により安定的にコミュニティバスが運行でき、住民の日常生活に必要な交通手段を確保することができた。また、運行記録及び保守点検記録等から、令和2年度は年間利用者数49,108人、運賃収入11,643,743円となっており、昨今の情勢下においても多くの住民に利用されている状況であり、事業目標に対する成果を確認することができた。</p> <p>地域住民への周知については、バス運行事業が防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金により助成されていることを記載した看板をバスの車内へ設置しバス利用者へ周知している。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							